

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2024年 7月 2日	
山口県知事 殿	
提出者	
住 所 山口県柳井市柳井1582番地 4	
氏 名 柳井化学工業株式会社	
戸坂 浩二	
電話番号 0820-22-0352	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	柳井化学工業株式会社 柳井本社工場
事業場の所在地	山口県柳井市柳井1582番地 4
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	その他の有機化学工業製品製造業
② 事業の規模	1,0864百万円
③ 従業員数	181人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・ 廃アルカリ・・・自社焼却及び委託処理（焼却） ・ 廃酸・・・自社焼却及び委託処理（焼却） ・ 汚泥・・・処理委託（焼却）及び中間処理し再生利用 ・ 燃え殻・・・処理委託（埋立） ・ ガラス、陶磁器くず・処理委託（埋立） ・ 金属くず、廃プラスチック・・・処理委託（焼却）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) ・別紙参照			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2－1の通り	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・生産工程の改善により廃アルカリの減少（製品当たりの排出量減少）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2－1の通り	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・生産工程改善により廃アルカリの減少		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・すべての産業廃棄物について分類、保管実施。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特になし		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2－1の通り	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2－1の通り	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・特に実施予定なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2－1の通り	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・廃アルカリの自社焼却実施 ・自社焼却設備を2020年に増設		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2－1の通り	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・特に実施予定なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2－1の通り	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・実施例なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2－1の通り	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2－1の通り	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、現地 確認後書面による契約を実施している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙２－１の通り	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・特に予定なし		
	※事務処理欄		

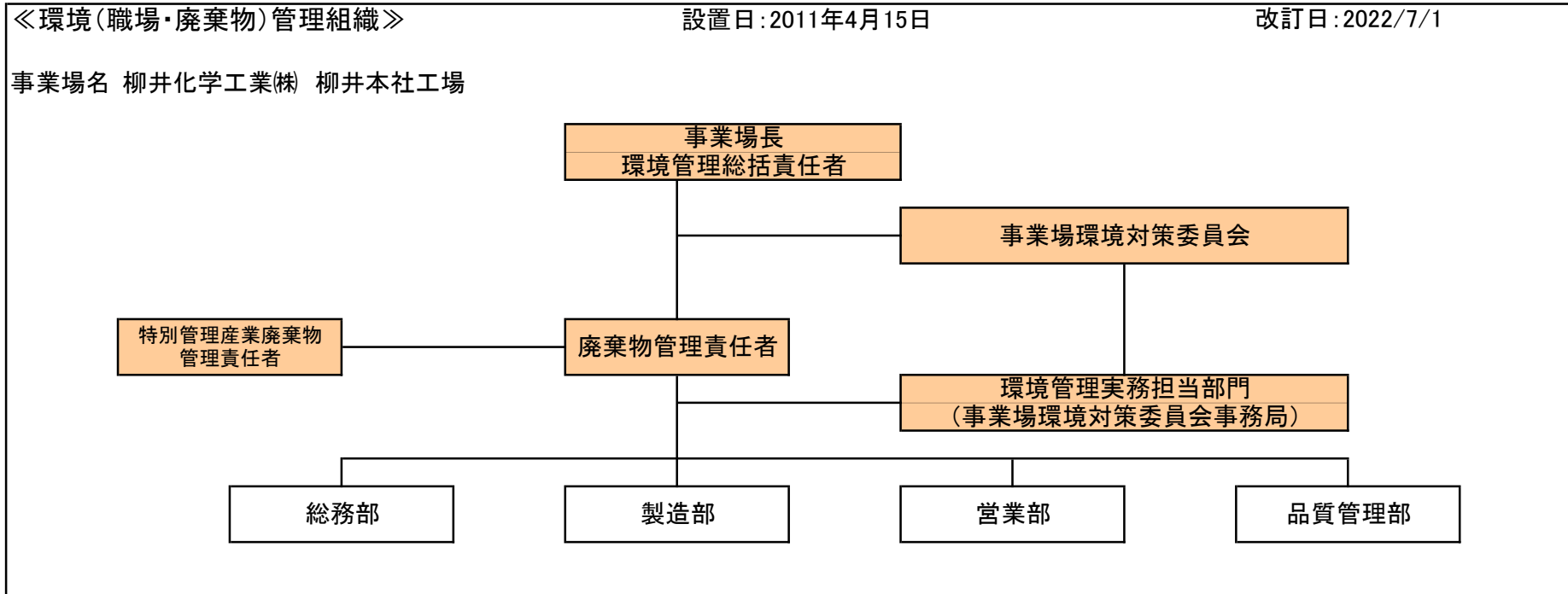
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

2024年7月2日

環境(職場・廃棄物)管理組織図(事業場)

事業場名 【柳井化学工業(株)】



多量排出事業者の産業廃棄物処理計画書(補足)(2024年度計画)

別紙2-1

多量排出事業者 名 称	柳井化学工業株式会社 柳井本社工場	所在地(市町名)	柳井市	事業の種類	その他の有機化学工業製品製造業
-------------	-------------------	----------	-----	-------	-----------------

区分	種 類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
		排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
産業廃棄物	燃え殻																				
	汚泥	830	850									830	850	830	850	261	270	0	0	569	600
	廃油	4	50									4	50	4	50	0	0	0	0	4	50
	廃酸	10,747	11,000					10,747	11,000			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	廃アルカリ	22,373	23,000					14,084	16,000			8,289	7,000	8,289	7,000	1,788	1,800	0	0	4,438	4,500
	廃プラスチック類	223	270									223	270	223	270	0	5	0	0	263	265
	紙くず																				
	木くず	41	90									41	90	41	90	41	90	0	0	0	0
	繊維くず																				
	動植物性残さ																				
	動物系固形不燃物																				
	ゴムくず																				
	金属くず	2	15									2	15	2	15	0	0	0	0	2	15
	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	16	23									16	23	16	23	0	0	0	0	16	23
	鉱さい																				
	がれき類	0	2									0	2	0	2	0	0	0	0	0	2
	動物のふん尿																				
	動物の死体																				
	ばいじん																				
	13号廃棄物																				
計 (A)		34,237	35,300	0	0	0	0	24,831	27,000	0	0	9,406	8,300	9,406	8,300	2,090	2,165	0	0	5,292	5,455